

組合員の
皆さまへ

JA自己改革 実践状況のご報告

(令和元年5月発行)

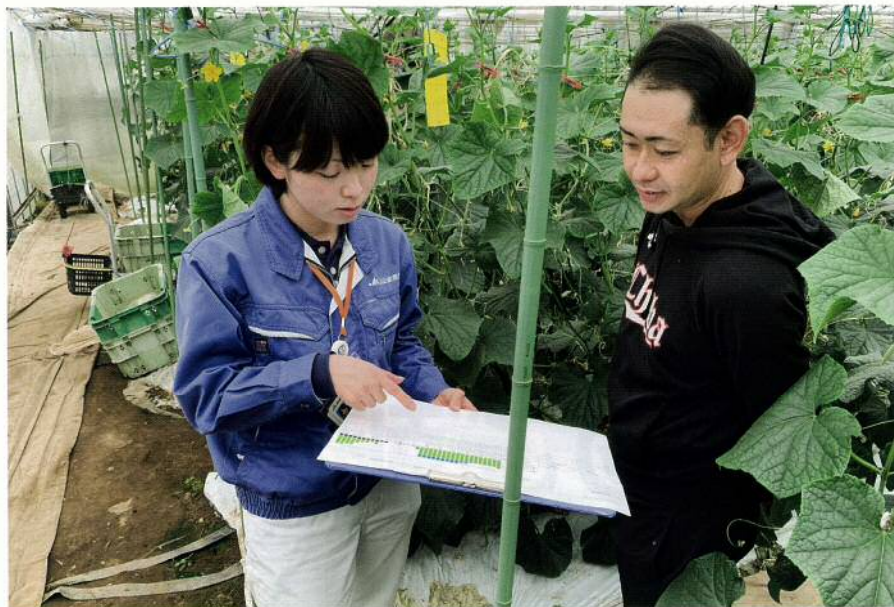
JA山武郡市では、平成28～30年度に第7次中期経営計画および農業振興計画を実践してまいりました。第8次中期経営計画(平成31～令和3年度)では、第7次中期経営計画の基本理念である「農家の所得向上」「地域の活性化」「組合員・利用者サービスの向上」を踏襲し、新たな施策を展開することで、「地域農業とともに発展するJA」を目指しています。

本紙は、第7次と第8次の中期経営計画および農業振興計画に基づく実践項目のうち、主な取り組みを報告するために作成しました。

「農業振興計画」の取り組み ～ 地域の

1

農家台帳システムを活用した提案型経営指導



◆農家台帳システムを使った経営シミュレーションによる提案を行うJA職員（写真左）

それぞれの農家が目標とする所得に達するには、「どの時期に」「どのような品目・作型・面積で」「何人体制で」「どのような機械・資材で」農業経営をすれば良いかを、数値やグラフで示すことが可能な農家台帳システムを独自に開発し、農家への提案型経営指導を平成29年度より開始しました。

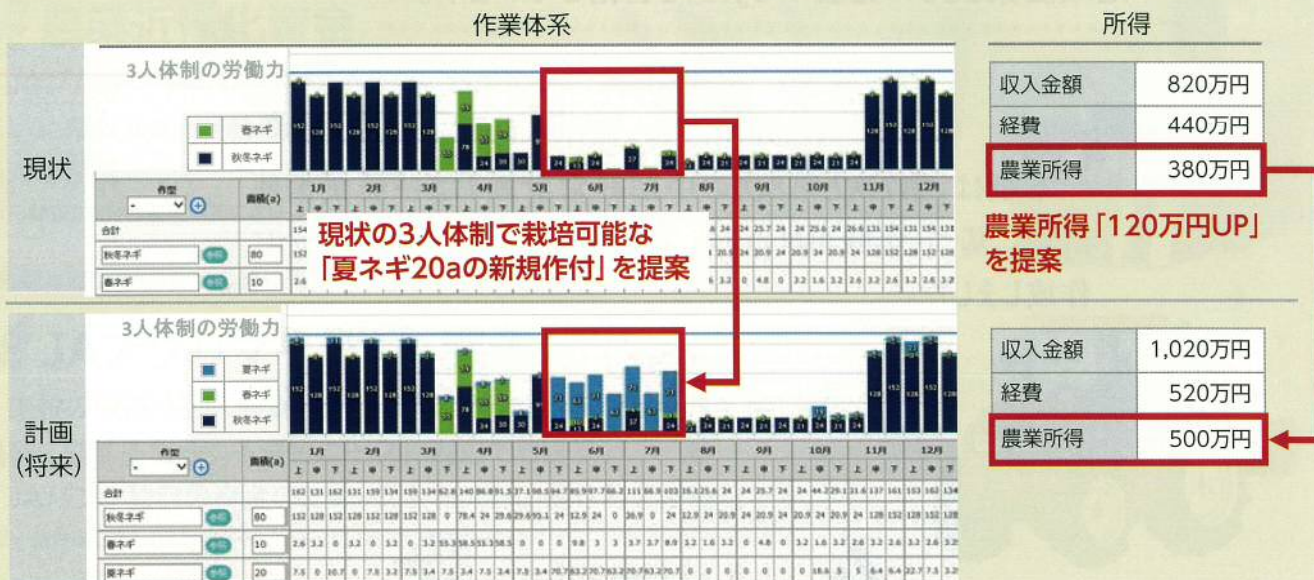
実際の取り組みとして、平成30年は農業振興計画で定義したJA山武郡市の主要品目であるネギ、ニンジン、トマトの担い手農家834戸を対象に、作付計画・経営方針の調査を行い、その中から規模拡大の

意向があり、JAからの支援を求める担い手農家44戸を選定し、提案型の経営指導を行いました。この活動は、本年度も継続しています。

今後も、経営指導の対象となった担い手農家からの意見・要望を踏まえ、農家台帳システムのより効果的な活用方法を構築し、さらに多くの農家へ経営指導ができるよう、取り組みを進めていきます。

経営シミュレーションのイメージ (夏ネギ新規作付による120万円の所得増大の提案)

※上記写真とシミュレーションに関連はありません。

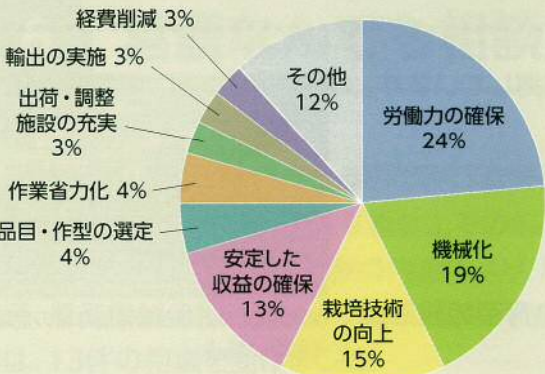


2 農作業ヘルパー無料職業紹介所

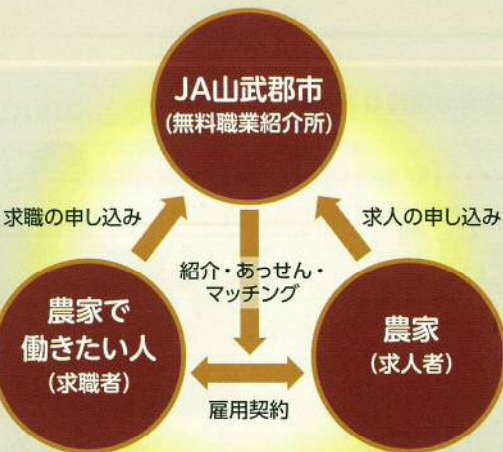
農業振興計画の策定にあたり、農家が抱えている課題を把握するために主業農家を対象に行ったアンケートやヒアリング結果から、生産高維持・拡大に向けた課題として「労働力の確保」が一番に挙がりました。

そこで、JA山武郡市は農繁期などで人手が必要となる農家と、「農業の現場で働きたい」「農家のお手伝いをしてみたい」という方をつなぐ「農作業ヘルパー無料職業紹介所」を平成29年に開設しました(平成29年11月2日認可取得【厚生労働大臣届出受理番号12-特-000116】)。求人する農家と求職する働き手(地域住民など)の希望・要件をJAが確認したうえで、両者を無料でマッチングしています。

生産高維持・拡大に向けた課題 アンケート調査 (平成27年実施)



農作業ヘルパー無料職業紹介所の概要



マッチング活動の経過 (平成30年12月末現在)

●求人農家：37人登録 ●求職者：63人登録
23戸の求人農家に32人をマッチング。
23人が採用となりました。

求人・求職の流れ



※1 求人票・求職票については、JA山武郡市のホームページからダウンロードしていただくか、最寄りの支所、営農・経済センター、農産物直売店「山武緑の風」でお受け取りください。

※2 求職申込は求職者名簿への登録であり、農家からの採用がすぐにあるとは限りませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先 農作業ヘルパー無料職業紹介所
(営農部 営農振興課内) TEL.0475-82-3531

3

外国人技能実習生の受け入れを支援

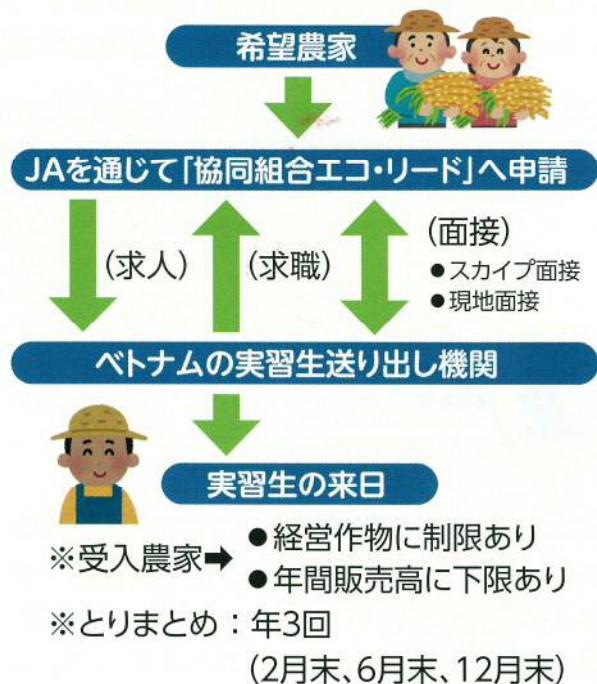
農家の労働力の確保に向けた取り組みとして、外国人技能実習生の受け入れ支援を行っています。繁忙期の労働力不足を補うだけでなく、通年雇用により規模拡大を目指している農家を、主な対象としています。

外国人技能実習生の受け入れ支援は、茨城県のJAグループの監理団体「協同組合エコ・リード」の協力を得て行っています。平成30年4月に、同組合の千葉事務所が当JAの二川支所敷地内に開所されました。

受け入れ希望農家を集めた説明会では、2戸の農家が4人の実習生の受け入れを希望。同年、4月にスカイプ(インターネットを使ったビデオ通話)により農家と実習生が面接を行い、採用を内定しました。実習生は10月に入国し、11月から農家のもとで実習を行っています。

今後も実習生を受け入れたい農家を募り、労働力不足の解決を図ります。

「外国人技能実習生」の受け入れまでの流れ



お問い合わせ先 営農部 営農振興課 TEL.0475-82-3531

4

農業塾（ネギ栽培編）の開講

これから新たにネギ栽培にチャレンジしたい人を支援するため、平成30年3月に農業塾を開講し、本年度も継続しています。

講師は、JAの営農指導員や農業事務所職員が務め、播種から収穫までの一連の作業について実習を交えて講義を行います。作型、必要な機械、作業場のレイアウト、経営試算についても合わせて解説します。

同年に実施した「ネギ栽培編」は、全5回の講座でJA管内の農家と農業未経験者合わせて30人が受講。この中で5人が新たに秋冬ネギの作付けを開始しました。

ネギはJA山武郡市の主力品目。栽培面積は184ヘクタールと県内トップです。この取り組みが農家所得の向上と生産基盤の確保につながればと期待しています。



◆播種作業を学ぶ受講生

5 営農情報メール配信サービス

平成30年2月から、主要農産物の作柄状況や病虫害の注意報、自然災害前後の農作物の管理方法などの最新情報を、スマートフォンやパソコンにメール配信しています。同年は101回配信。年末現在の登録者数は505人です。

登録方法

メールアドレスをご登録ください。右のQRコード、またはJA山武郡市のホームページから登録フォームへ進み、必要事項を入力してください。

※JA山武郡市の組合員なら、どなたでも登録できます。



6 営農なんでも相談室

栽培管理、新規作物導入、規模拡大、必要資金の手配、求人・雇用など、農業を営む上での悩み事や相談事をお受けします。相談の内容により、融資、共済、農業機械の担当職員が同席します。平成30年は、13件の相談を受けました。

営農なんでも相談室（営農部 営農振興課内）

お問い合わせ先



0120-972-860

組合員の皆さまの
営農に関する
お悩みを…

JAが行う**総合事業**の力で
解決します！



*JAの総合事業とは

『いろいろな事業で農業を応援します』

農業者は、JAから種子や肥料、農薬などを購入（購買事業）して農産物を生産します。JAは、収穫された農産物を販売（販売事業）し、代金をJAにある貯金口座に振り込みます。振り込まれたお金や地域の皆さまからお預かりしたお金は、農機具の購入や農作業場の建設など農業経営に必要な資金として貸し出されます。住宅や車を取得する資金として地域の皆さまにもご利用いただけます（信用事業）。

*JAの組合員制度とは

『農業者以外の組合員も農業の応援団です』

JAの組合員は、「正組合員」と「准組合員」で構成されます。

正組合員は、主に農業者です。消費者に安全で安心な農畜産物をお届けすることで、日本の食と農を守り、農業を通じて地域を豊かにするJAの主人公です。

それによって、JAの中だけでなく、組合員や地域の中でお金が循環します。JAではほかにも、共済、営農指導、農産物の直売、介護など、農業や地域に役立つ事業を行っています。これらの事業を兼営することをJAの「総合事業」といいます。

JAは、「総合事業」を展開することにより、各事業が互いに補完し、全体として経営を安定させ、組合員・利用者への総合的なサービスの提供を可能にしています。

准組合員は、主にJAの管内に居住される方や管内にお勤めの方で、JAの事業をご利用いただいている皆さまです。JAを利用していただくことで、JAは事業量が拡大し、経営が安定します。また、地域や国内の農畜産物を消費することで、地域・国内の農業を支える、農業の応援団とも言えます。

「中期経営計画」に基づく取り組み

◆ 支所の再編

第7次と第8次の中期経営計画では、「支所の再編」に取り組んでいます。支所を再編することでJAの経営基盤を確立・強化するとともに、1つの支所に職員を集中させ、専門性・対応力の高い職員を育成し、相続、年金、融資、共済、資産運用などの相談にお応えできる体制を目指します。

平成28年11月26日 大網山辺・瑞穂支所を再編、大網支所に。
平成28年11月26日 片貝・豊海支所を再編、九十九里支所に。
平成29年 3月11日 横芝・上堺支所を再編、横芝支所に。
平成30年 1月27日 東金・正気・大和・丘山の4支所を再編、東金支所に。
令和元年11月 蓮沼・大平支所の再編を計画。
今後の予定 松尾・豊岡・横芝・大総・福岡・東金の各支所の再編を計画。



支所再編を行い、横芝支所と東金支所では新店舗を建設しました。

◆ 農業関連施設の取得

JA山武郡市管内の農業に貢献するため、農業関連施設を取得しています。

① 米の定温倉庫を新設

JA山武郡市全域の米を集め、定温で保管する米倉庫を平成29年8月、横芝地区に新設しました。約4万俵の保管能力を有します。

② 育苗施設を新設

老朽化した蓮沼育苗施設と横芝育苗施設を統合し、新しい育苗施設を建設します(令和2年稼働予定)。



横芝光町に4万俵保管可能な米の定温倉庫を新設しました。

皆さまの農業経営を応援します

トラクター、コンバインなど農機具の購入をご検討中の方、ハウス、農作業場の建設などをお考えの方へ

農業近代化資金

JAグループや行政等で利子を負担しますので、**実質無利子**^{※1}でご利用いただけます。施設の取得・拡張、設備・農機具購入など幅広い資金調達を長期でサポートします。

※1…6年目以降は金利情勢により、自己負担部分が発生する場合があります。

農業生産に直結する設備資金から、短期の運転資金まで

JAアグリマイティー資金

施設の取得・拡張、設備・農機具購入から短期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに対応できます。

JAバンク独自の資金のため、**低金利**^{※2}で**迅速な対応**が可能です。

※2…条件を満たした場合、当初3年間、利子補給が受けられます。



◎上記の農業資金にご興味のある方は、お近くのローンセンターまたは支所窓口までお気軽にご相談ください。